学校番号	1006

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史　改訂版　（山川出版社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学入試に必要とされる世界史の知識修得を目指します。
１年間で世界史Ｂの全ての範囲を学ぶため､授業の進度は速いです｡各自での復習などは必須です。また、大学の入試問題を使った演習も行う予定ですので、特に意欲のある生徒の参加を求めます。
事前に授業担当者とよく相談の上、履修すること。

２　学習の到達目標

・世界史の大きな枠組みと展開を各地の地理的条件・日本の歴史とも関連付けながら、諸史料に基づいて理解する。
・文化の多様性・複合性と現代世界の成り立ちを広い視野から考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会を主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究する。 国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見出し､文化の多様性･複合性や現代世界の特質を多面的･多角的に考察している。 国際社会の変化をふまえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。	世界の歴史についての基本的な事柄について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、知識として身につけている。
評価方法	定期考査 授業態度 小テスト 授業ノート･プリント	定期考査 授業態度 小テスト 授業ノート･プリント	定期考査 授業態度 小テスト 授業ノート・プリント	定期考査 授業態度 小テスト 授業ノート・プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	原始～古代～中世	・ビッグバン～人類の出現 ・西アジア～地中海世界 ・南アジア～東南アジア ・東アジア～中央ユーラシア ・アフリカ～南北アメリカ ・イスラーム世界 ・キリスト教世界	○	○	○	○	a:人類の起源や各地域の歴史について関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:各地域の風土・社会・政治・文化・宗教・歴史について共通点や相違点を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地図などを活用して、地理的条件が人類の活動に与える影響について説明することができる。また、写真資料から各地の文化の特色を読み取ることができる。 d:原始～中世の各地域における人類の活動を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業態度 小テスト 授業ノート・プリント
2	中世～近代	・中央ユーラシアの展開 ・大航海時代 ・アジアの諸帝国 ・近代ヨーロッパ ・アメリカ ・帝国主義の時代	○	○	○	○	a:ヨーロッパ世界とアジア世界の展開・諸地域との交流について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:各国の膨張政策とその影響について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地図など各種資料を活用し、諸地域の繋がりを読み取っている。 d:交易・戦争などを通じ、人類が次第に地域を超えたつながりを持つ過程を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業態度 小テスト 授業ノート・プリント
3	現代	・二つの世界大戦 ・冷戦～世界の多極化 ・グローバリゼーション	○	○		○	a:二度の世界大戦の勃発とその後のグローバル化の進展について、意欲的に追究しようとしている。 b:二度の大戦の原因と現代の諸対立の原因を比較・考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d:現代の世界に直結する歴史の過程を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業態度 小テスト 授業ノート・プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。